砂川市訓令第４０号
令和　8年　１０月　１日

砂川市子育てのための施設等利用費支給要綱の一部を改正する訓令を次のように定める。

砂川市長　　飯　　澤　　明　　彦

（　別　　紙　）

砂川市子育てのための施設等利用費支給要綱の一部を改正する訓令

砂川市子育てのための施設等利用費支給要綱（令和元年訓令第64号）の一部を次のように改正する。

別記第１号様式「５　施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入」の「※６」中「25,700円」を「28,000円」に改める。

別記第２号様式「６　在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用（※３参照）における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入」の表中

「

対象額(b) (450×利用日数)

」

を

「

対象額(b) (490×利用日数)

」

に改め、同表の「※５」中「11,300円」を「12,300円」に、「16,300円」を「17,700円」に改める。

別記第３号様式「５　認可外保育施設・一時預かり事業・病児病後児保育事業・子育て援助活動支援事業の施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入」の「※５」中「37,000円」を「40,300円」に、「42,000円」を「45,700円」に、「37,000(42,000)円」を「40,300(45,700)円」に改める。

別記第６号様式の２の「※５」中「25,700円」を「28,000円」に改める。

別記第６号様式の３の「※２」中「11,300円」を「12,300円」に、「16,300円」を「17,700円」に改め、同様式の表中

「

対象額 (c＝b×450円)

」

を

「

対象額(b) (c＝b×490円)

」

に改める。

別記第６号様式の４の「※２」中「37,000円」を「40,300円」に、「42,000円」を「45,700円」に、「37,000(42,000)円」を「40,300(45,700)円」に改める。

附　則

この訓令は、令和８年10月１日から施行する。

別記第１号様式（第５条関係）

請求日　　年　　月　　日

砂川市長　様

施設等利用費請求書（償還払い用）

私立幼稚園(新制度移行園除く)、国立大学附属幼稚園、特別支援学校幼稚部の施設等利用費

【　　年　月～　　年　月分請求用】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第１項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、次のとおり請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んでください。

なお、施設等利用費の審査に当たり、次の事項に同意します。

１　請求者と認定子どもが、砂川市内に居住していることを砂川市が住民基本台帳で確認すること。

２　実際に利用していることを砂川市が対象施設に確認すること。

３　利用料の支払状況を砂川市が対象施設に確認すること。

４　課税状況を砂川市が確認すること。

１　施設等利用費の支給を受けようとする者

フリガナ		認定子どもとの続柄		生年月日	年　月　日
氏　名				現住所	電話：

２　認定子ども

法第30条の４の認定種別	□ 第１号 □ 第２号 □ 第３号	認定番号	
生年月日	年　月　日	フリガナ	
年　月　日～　年　月　日の間の住所		氏　名	
□ 現住所のとおり □ 転入した □ 転出した			
上記で転入又は転出に該当した場合は転入・転出日を記入		年　月　日	

３　在籍する幼稚園等について記入

フリガナ		所在地（市外の場合のみ記入）	〒 電話：		
幼稚園等名称					
契約している利用料(いずれかにレを記入し金額を記入)※１	□ 月額　円	□ 日額　円	□ 時間　円		
年　月　日～　年　月　日の間の在籍状況	□ 期間中在籍 □ 途中入園した □ 途中退園した				
上記で、途中入園又は途中退園に該当した場合はその年月日を記入	年　月　日				

※１ 利用料の設定が月単位を超える(四半期、前期・後期等)場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、当該利用料の月額相当分を算定し、月額欄の□にレを記入し、算定した月額相当分を記入してください。

４　償還払いの振込先を記入(※２)

金融機関名		預金種目	□ 普通　□ 当座
銀行・信用金庫	支店	口座番号	
農協・信用組合	出張所	口座名義(カタカナ)	

※２ 請求者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、本市指定の委任状を提出してください。

＜裏面も記入してください。＞

５　施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

今年度分の入園料を支払った場合に記入(a) ※３	入園年月日(　　年　　月　　日)　入園料(　　円)				
利用年月	今年度分の支払った入園料の月額換算額 (b=a/12) ※３ ※４	支払った月額利用料 (保育料) (c) ※３ ※５	支払額合計 (d=b+c)	月額上限額 (e) ※６	請求額 (dとeを比較して小さい方)
年　　月	円	円	円	円	円
年　　月	円	円	円	円	円
年　　月	円	円	円	円	円

※３ 上記で記入した入園料や保育料について支払を証明する領収証（口座振替の場合は通帳コピー等を添付）と特定子ども・子育て支援提供証明書を添付してください。

※４ 途中入退園の場合は、12ではなく当該年度の在籍月数で除してください(10円未満の端数切捨て)。

※５ 利用料の設定が月単位を超える（四半期、前期・後期など）場合は、当該保育料を当該期間の月数で除して、保育料の月額相当分を算定してください（10円未満の端数がある場合は切捨て）。

※６ 月の途中で利用終了する場合は、月額上限額×退所日までの平日開所日数÷その月の平日開所日数、月途中で利用開始する場合は、月額上限額×入所日以降の平日開所日数÷その月の平日開所日数としてください（月額上限額：28,000円、国立大学附属幼稚園は8,700円、国立大学附属特別支援学校は400円）。

別記第２号様式（第５条関係）

請求日　　年　　月　　日

砂川市長　様

施設等利用費請求書（償還払い用）

幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部の預かり保育事業の施設等利用費

【　　年　月～　　年　月分請求用】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第１項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、次のとおり請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んでください。
なお、施設等利用費の審査に当たり、次の事項に同意します。

１　請求者と認定子どもが、砂川市内に居住していることを砂川市が住民基本台帳で確認すること。

２　実際に利用していることを砂川市が対象施設に確認すること。

３　利用料の支払状況を砂川市が対象施設に確認すること。

４　課税状況を砂川市が確認すること。

１　施設等利用費の支給を受けようとする者

フリガナ		認定子どもとの続柄		生年月日	年　月　日
氏　名				現住所	電話：

２　認定子ども

法第30条の４の認定種別	□ 第２号　□ 第３号	認定番号	
生年月日	年　月　日	フリガナ	
年　月　日～　年　月　日の間の住所 □ 現住所のとおり　□ 転入した　□ 転出した		氏　名	
上記で転入又は転出に該当した場合は転入・転出日を記入		年　月　日	

３　在籍する幼稚園・認定こども園・特別支援学校について記入

フリガナ		所在地 （市外の場合のみ記入）	〒 電話：
施設名称			
年　月　日～　年　月　日の間の在籍状況	□ 期間中在籍　□ 途中入園した　□ 途中退園した		
上記で、途中入園又は途中退園に該当した場合はその年月日を記入	年　月　日		

４　償還払いの振込先を記入（※１）

金融機関名		預金種目	□ 普通　□ 当座
銀行・信用金庫	支店	口座番号	
農協・信用組合	出張所	口座名義（カタカナ）	

※１ 請求者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、本市指定の委任状を提出してください。

＜裏面も記入してください。＞

5　在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合は記入(※２)

※①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記入してください。

①	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
②	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
③	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
④	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
⑤	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
⑥	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			

※２　「在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合」とは、在籍園の預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が８時間未満又は年間（平日・長期休業中・休日の合計）開所日数200日未満の場合のみです。

6　在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※３参照)における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等に支払った金額(d) ※３　※４	請求額　※５ (「ｃ＋ｄ」か月額上限額の低い方を記入)
	施設に支払った金額(a) ※４	利用日数	対象額(b) (490×利用日数)	aとbの金額の低い方を記入(c)		
年　月	円	日	円	円	円	円
年　月	円	日	円	円	円	円
年　月	円	日	円	円	円	円

※３　「認可外保育施設等に支払った金額」は、預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育事業の提供時間数が８時間未満又は年間（平日・長期休業中・休日の合計）開所日数200日未満の場合のみ記入が可能です。

※４　上記で記入した「施設に支払った金額」及び「認可外保育施設等に支払った金額」を証明する領収証（口座振替の場合は通帳コピー等を添付）と特定子ども・子育て支援提供証明書を添付してください。

※５　月額上限額は、法第30条の４の認定種別が第２号の場合は12,300円、第３号の場合は17,700円となります。「ｃ＋ｄ」がこれを超える場合は、それぞれの月額上限額を記入してください。

別記第３号様式（第５条関係）

請求日　　年　月　日

砂川市長　様

施設等利用費請求書（償還払い用）

認可外保育施設・一時預かり事業・病児病後児保育事業・子育て援助活動支援事業の施設等利用費

【　　年　月～　　年　月分請求用】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第１項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、次のとおり請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んでください。
なお、施設等利用費の審査に当たり、次の事項に同意します。

１　請求者と認定子どもが、砂川市内に居住していることを砂川市が住民基本台帳で確認すること。

２　実際に利用していることを砂川市が対象施設に確認すること。

３　利用料の支払状況を砂川市が対象施設に確認すること。

４　課税状況を砂川市が確認すること。

１　施設等利用費の支給を受けようとする者

フリガナ		認定子どもとの続柄		生年月日	年　月　日
氏　名				現住所	電話：

２　認定子ども

法第30条の４の認定種別	□ 第２号 □ 第３号	認定番号	
生年月日	年　月　日	フリガナ	
年　月　日～　年　月　日の間の住所		氏　名	
□ 現住所のとおり □ 転入した □ 転出した			
上記で転入又は転出に該当した場合は転入・転出日を記入		年　月　日	

３　償還払いの振込先を記入（※１）

金融機関名		預金種目	□ 普通　□ 当座
銀行・信用金庫	支店	口座番号	
農協・信用組合	出張所	口座名義（カタカナ）	

※１ 請求者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、本市指定の委任状を提出してください。

４　利用した認可外保育施設・一時預かり事業・病児病後児保育事業・子育て援助活動支援事業を記入（複数記入可）

①	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
	契約している利用料※２	□ 月額　円 □ 日額　円 □ 時間額　円		
②	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
	契約している利用料※２	□ 月額　円 □ 日額　円 □ 時間額　円		
③	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
	契約している利用料※２	□ 月額　円 □ 日額　円 □ 時間額　円		

＜裏面も記入してください。＞

④	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
	契約している利用料※２	□ 月額　　円 □ 日額　　円 □ 時間額　　円		
⑤	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
	契約している利用料※２	□ 月額　　円 □ 日額　　円 □ 時間額　　円		
⑥	フリガナ		所在地	〒 電話：
	施設・事業名			
	契約している利用料※２	□ 月額　　円 □ 日額　　円 □ 時間額　　円		

※①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記入してください。

※２ 該当箇所にレを記入し金額を記入してください。利用料の設定が月単位を超える(四半期、前期・後期等)場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、当該利用料の月額相当分を算定し、月額欄の□にレを記入し、算定した月額相当分を記入してください。

5　認可外保育施設・一時預かり事業・病児病後児保育事業・子育て援助活動支援事業の施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月	認可外保育施設に支払った月額利用料（保育料）(a) ※３ ※４	一時預かり事業・病児病後児保育事業・子育て援助活動支援事業に支払った月額合計利用料 (b) ※３	支払額合計 (c=a+b)	月額上限額 (d)	請求額 (cとdを比較して小さい方)
年　月	円	円	円	円	円
年　月	円	円	円	円	円
年　月	円	円	円	円	円

※３ 上記で記入した利用料の合計額を支払ったことを証明する書類（施設からの領収証等）と特定子ども・子育て支援提供証明書をすべて添付してください。
また、子育て援助活動支援事業を利用した場合は、援助を行う会員が発行した活動報告書も添付してください。

※４ 利用料の設定が月単位を超える（四半期、前期・後期など）場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、利用料の月額相当分を算定してください（10円未満の端数がある場合は切捨て）。

※５ 月額上限額は、施設等利用給付第２号認定の場合は月額40,300円、第３号認定の場合は45,700円です。
月途中で認定期間が終了する若しくは開始される場合又は市町村間の転出入の場合の月額限度額は、次のとおりとなります。
・月途中で認定期間が終了する場合
　又は別の市町村へ転出する場合の限度額：40,300(45,700)円×　転出日までの日数÷その月の日数
・月途中で認定期間が開始される場合
　又は別の市町村から転入した場合の限度額：40,300(45,700)円×　転入先での認定日からの日数÷その月の日数

別記第６号様式の２（第５条関係）

施設等利用費請求金額内訳書

【　　年　　月分】

※施設等利用費請求金額の内訳となる認定子ども全員について記入

No.	生年月日	フリガナ 認定子どもの氏名	幼稚園の契約状況 契約形態・ 契約している利用料 ※１	幼稚園の契約状況 今年度分の入園料が 発生している場合に記入 ※２	月途中の入退園 レ及び入園(退園)日を記入	入園料月額換算額 (b=a/12) ※３ ※４ 利用料合計 (d=b+c) 請求額(dとeを比較して小さい方)	月額利用料(保育料) （ｃ）※３ ※５ 月額上限額（ｅ）※６ 請求額(dとeを比較して小さい方)
	年　月　日		□ 月額契約 □ 日額契約　円 □ 時間契約	・入園日　年　月　日 ・入園料 □ 有 □ 無 (a) (納入金額　円)	□ なし □ 入園(　日) □ 退園(　日)	円 円 **円**	円 円
	年　月　日		□ 月額契約 □ 日額契約　円 □ 時間契約	・入園日　年　月　日 ・入園料 □ 有 □ 無 (a) (納入金額　円)	□ なし □ 入園(　日) □ 退園(　日)	円 円 **円**	円 円
	年　月　日		□ 月額契約 □ 日額契約　円 □ 時間契約	・入園日　年　月　日 ・入園料 □ 有 □ 無 (a) (納入金額　円)	□ なし □ 入園(　日) □ 退園(　日)	円 円 **円**	円 円
	年　月　日		□ 月額契約 □ 日額契約　円 □ 時間契約	・入園日　年　月　日 ・入園料 □ 有 □ 無 (a) (納入金額　円)	□ なし □ 入園(　日) □ 退園(　日)	円 円 **円**	円 円
	年　月　日		□ 月額契約 □ 日額契約　円 □ 時間契約	・入園日　年　月　日 ・入園料 □ 有 □ 無 (a) (納入金額　円)	□ なし □ 入園(　日) □ 退園(　日)	円 円 **円**	円 円
	年　月　日		□ 月額契約 □ 日額契約　円 □ 時間契約	・入園日　年　月　日 ・入園料 □ 有 □ 無 (a) (納入金額　円)	□ なし □ 入園(　日) □ 退園(　日)	円 円 **円**	円 円

※１ 利用料の設定が月単位を超える（四半期、前期・後期等）場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、当該利用料の月額相当分を算定し、月額欄の□にレを記入し、算定した月額相当分を記入してください。

※２ 入園日が今年度でない場合であっても、今年度分の入園料が発生している場合は、入園料「有」でその金額を記入してください。

※３ 途中入退園の場合は、12ではなく当該年度の在籍月数で除してください（10円未満の端数切捨て）。

※４ 利用料の設定が月単位を超える（四半期、前期・後期など）場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、利用料の月額相当分を算定してください（10円未満の端数がある場合は切捨て）。

※５ 月の途中で利用終了する場合は、月額上限額×退所日までの平日開所日数÷その月の平日開所日数、月途中で利用開始する場合は、月額上限額×入所日以降の平日開所日数÷その月の平日開所日数としてください（月額上限額：28,000円、国立大学附属幼稚園は8,700円、国立大学附属特別支援学校は400円）。

別記第６号様式の３（第５条関係）

施設等利用費請求金額内訳書

【　　年　　月分】

施設名 ＿＿＿＿＿＿＿＿

※施設等利用費請求金額の内訳となる認定子ども全員について記入

※１　利用料は、特定子ども・子育て支援利用料を記入（日用品、文房具、行事参加費、飲食費、通園送迎費等を除いた金額）

※２　月額上限額は、施設等利用給付認定種別が新２号の場合は12,300円、新３号の場合は17,700円となります。

No.	当初年齢	生年月日	認定子どもの氏名	認定種別	請求額（(d)と(e)の金額を比較して低い方）	請求額の算定内訳				
						利用料 (a)	利用日数 (b)	対象額 (c＝b×490円)	aとcの金額を比較して低い方（d）	月額上限額 (e)
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
					円	円	日	円	円	円
合計					円					

別記第６号様式の４（第５条関係）

施設等利用費請求金額内訳書

【　　年　　月分】

※施設等利用費請求金額の内訳となる認定子ども全員について記入

No.	生年月日	(フリガナ) 認定子どもの氏名	認可外保育施設の契約形態・ 契約している利用料　※１	月途中の入退園 レ及び月途中入園(退園)日を記入	月額利用料(a)	月額上限額(b) ※２
					請求額(aとbを比較して小さい方)	
	年　月　日		□ 月額契約 □ 時間契約　　円 □ 日額契約	□ なし □ 月途中入園(　　日) □ 月途中入園(　　日)	円	円 **円**
	年　月　日		□ 月額契約 □ 時間契約　　円 □ 日額契約	□ なし □ 月途中入園(　　日) □ 月途中入園(　　日)	円	円 **円**
	年　月　日		□ 月額契約 □ 時間契約　　円 □ 日額契約	□ なし □ 月途中入園(　　日) □ 月途中入園(　　日)	円	円 **円**
	年　月　日		□ 月額契約 □ 時間契約　　円 □ 日額契約	□ なし □ 月途中入園(　　日) □ 月途中入園(　　日)	円	円 **円**
	年　月　日		□ 月額契約 □ 時間契約　　円 □ 日額契約	□ なし □ 月途中入園(　　日) □ 月途中入園(　　日)	円	円 **円**
	年　月　日		□ 月額契約 □ 時間契約　　円 □ 日額契約	□ なし □ 月途中入園(　　日) □ 月途中入園(　　日)	円	円 **円**
	年　月　日		□ 月額契約 □ 時間契約　　円 □ 日額契約	□ なし □ 月途中入園(　　日) □ 月途中入園(　　日)	円	円 **円**
	年　月　日		□ 月額契約 □ 時間契約　　円 □ 日額契約	□ なし □ 月途中入園(　　日) □ 月途中入園(　　日)	円	円 **円**

※１　利用料の設定が月単位を超える（四半期、前期・後期など）場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、利用料の月額相当分を算定してください（10円未満の端数がある場合は切捨て）。

※２　月額上限額は、施設等利用給付第２号認定の場合は月額40,300円、第３号認定の場合は45,700円です。
月途中で認定期間が終了する又は開始される場合か、市町村間の転出入の場合、月額限度額は次の通りとなります。
・月途中で認定期間が終了する場合又は別の市町村へ転出する場合の限度額：40,300(45,700)円×　転出日までの日数÷その月の日数
・月途中で認定期間が開始される場合又は別の市町村から転入した場合の限度額：40,300(45,700)円×　転入先での認定日からの日数÷その月の日数